

令和2年度(令和元年度実績) 総合評価書 <施設名:市之倉児童センター>

1 指定管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
2 指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 3 月 31 日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満~95%:8点、 95%未満~85%:6点、 85%未満:4~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出	開館時間中(10:00~18:00)は自由来館としている。	-
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不相当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値  平均値比(上記(2)適用) (新型コロナの影響からH31.4からR2.2までの利用人数累計にH31.3の利用人数を加算) 4,143(利用人数)÷4,799≒86%	95%未満~85%3点  ・乳幼児クラブ後期は仕事復帰に伴う入園が多く、減少。 ・スポーツ目的で来館する中学生が増加。 【令和元年度】来館者数 3,767人 乳幼児 645人 小学生 1,732人 中高生 371人 大人 1,019人 【平成30年度】来館者数 4,712人 乳幼児 673人 小学生 2,690人 中高生 189人 大人 1,160人 【平成29年度】来館者数 4,643人 乳幼児 815人 小学生 2,455人 中高生 229人 大人 1,144人 【平成28年度】来館者数 5,044人 乳幼児 683人 小学生 2,970人 中高生 360人 大人 1,031人  ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	6点
			(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)			仕様書以上:15~12点、 仕様書に忠実:11~9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、 それ以下:2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計39回開催、延べ303名参加) ・児童を対象とした事業(計64回開催、延べ495名参加) ・地域交流事業・多世代間交流事業(計2回開催、延べ376名参加) ・中高生事業(計1回開催、延べ5名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計13回開催、延べ37名参加)  ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 14点
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	内容・事業数等が期待以上:15~12点、 内容・事業数等が例年通り:11~9点、 内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、 内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、 内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計34回開催、延べ175名参加) ・児童を対象とした事業(計81回開催、延べ498名参加) ・地域交流事業・多世代間交流事業(計37回開催、延べ584名参加) ・中高生事業(計17回開催、延べ70名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計5回開催、延べ18名参加)  ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・新しい取り組みや工夫が随所にみられる。	13点			

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
2 施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10 ①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、 一部不備あり:4点、 不備あり:2点	・屋内・トイレの清掃:毎日、ガラスの清掃:随時、備品の清掃:週1~2回、照明器具の清掃:随時、館庭の清掃:週1~3回などの定期清掃、日常清掃を実施。 ・駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	10点
		②保守・点検		・電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。 ・パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		③保安・警備		・非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		④小規模修繕		・床面洗浄、剥離、ワックス散布(37,957円) 10万円未満であるので、仕様書の定めにより、指定管理者負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	・修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
		⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)		・毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。	適正(普通) 2点	・日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15 ①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	・文書目録に基づき適正に管理されている。	10点
		②環境への配慮		・節電・節水に努める 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定、プール遊びで残った水を打ち水にし暑さ対策にする、夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットをひく、など季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・廃材や消耗品の再利用 空き箱やペットボトルなどの廃材置き場をもうけ、子ども達が自由に工作ができるようにしている。 リサイクル紙を利用、関係者機関への連絡はメールを利用。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		③バリアフリー		・廊下の床に、来館者の荷物を置いて動線をふさがないように、棚を荷物置き場になっている。 ・卓球台の転倒防止の為ベルトで固定している。 ・郵便受けやテーブルのかどにクッションを取り付けている。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		④備品管理		・備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		⑤個人情報保護		・特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成している。 ・情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
		⑥事故等への対応		事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり: △1点)	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点	
3 当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5 当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満~100%:4点、 100%未満:3点	収入 10,954,250円 ÷ 支出 10348829円 ≒ 106%	105%以上 5点	・指定管理料の範囲内で適正に事業が実施されている。	5点	

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
4 より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10 期待以上:10~8点、 適正(普通):7~5点、 不備あり:4~1点	・窓口に意見箱を設置するとともに、前期・後期のクラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを実施し、乳幼児クラブでは要望の多かった運動遊びや消防署見学会、お散歩でヤギの餌やり体験などを取り入れた。もぐもぐクラブでは、軽食も作りたいとの意見から、ピザや餃子作りなど調理の幅を広げた。	期待以上 9点	・クラブにおいてアンケート結果を、次期に反映させて対応している。	9点
		②苦情対応	5 期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。	苦情なし・適正(普通) 4点	・ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点
	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)	15 提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない: 8~0点	・地元の関係団体におたよりの他に作成したチラシの配布、掲示を積極的に依頼し、利用促進に努めた。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。(5/10東京ニッショーホール・2/8~9明治学院大学) ・4/24「みんなのおうちコーディネータ養成研修(東京池袋本部)」・1/15~16「全国事業推進会議(東京日本教育会館)」においての子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計9回開催。 ・6/9「東海基礎研修」・7/14「東海子育てプロジェクト」・1/26「東海よい仕事集会」など、愛知岐阜静岡エリアブロックにおいても研究交流会を開催。 ・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第4月曜日を基本に開催。 (4/15組織理解基本研修・5/27普通救命救急講習(笠原消防署)をはじめ、児童館ガイドライン研修・リスクマネジメントとヒヤリハット学習会・集団および個別援助研修・ぎふ木育講習・スキルトイ実技・製作実践指導など専門性を高める研修。その他事務研修としてホームページ更新法および電算システム実務研修) ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:児童健全育成推進財団】5/24健全育成専門セミナー 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】5/31総会研修会・9/13館長研修会・10/2東濃ブロック児童厚生員研修会・10/30東濃地区児童館職員等研修会 【主催:岐阜県恵みの森づくり推進課】8/29ぎふ木育リスクマネジメント安全管理研修・2/25ぎふ木育ひろばフォローアップ研修	期待以上 14点	・地域行事や会議へ参加等地域との積極的な連携を行っている。 ・おもちゃ・ゲームについてこまめに応募する等運営努力を行っている(高確率で当選している)。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。 ・小学校でのおたより配布時の放送紹介等を積極的にい行い児童センターの認知度が上がっている。	14点	
5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0 提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする (遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	・適正に実施されている。	0点	
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0 指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3		指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	・適正に実施されている。	0点	
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下			85点	
						全体的な評価 ・極めて良好な管理がされている。 ・地域と積極的に連携し良好な関係の構築に努めている。 ・独自に情報を収集し、運営に活かすよう努めている。	極めて良好